

2021年度香港における 日本産コメ プロモーションのご案内

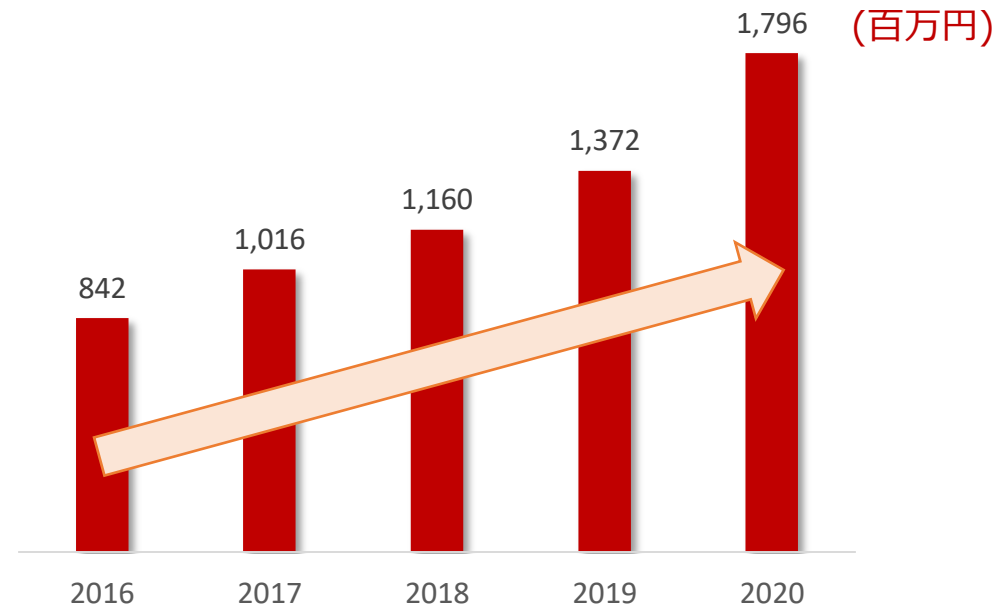
日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）

2021年9月

日本産コメの対香港輸出状況

2020年の輸出額は約18億円に到達し、年平均成長率20%で伸長しています

【日本産コメ輸出 推移（金額）】



出所：財務省貿易統計
対象HSコード、1006.10、1006.20、1006.30、1106.40

日本産コメの取扱いと消費状況

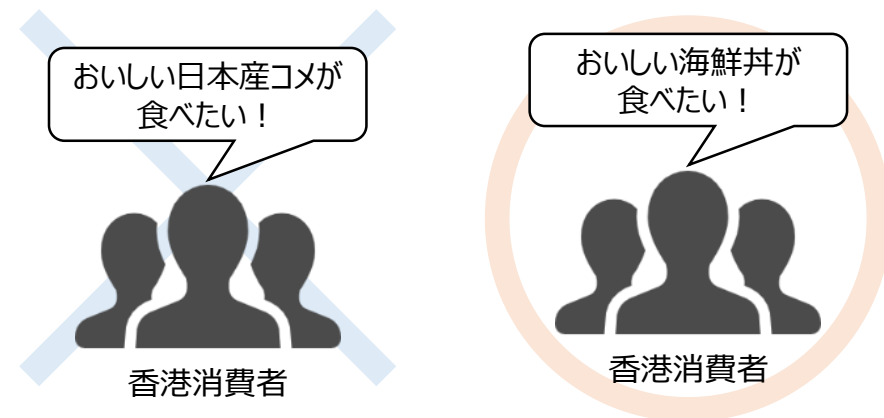
日本産コメの7割以上は業務用として中食・外食向けに卸されており、料理の一材料として扱われていることから、消費者はコメの品種・産地を選択することはできません

【日本産コメの卸先】



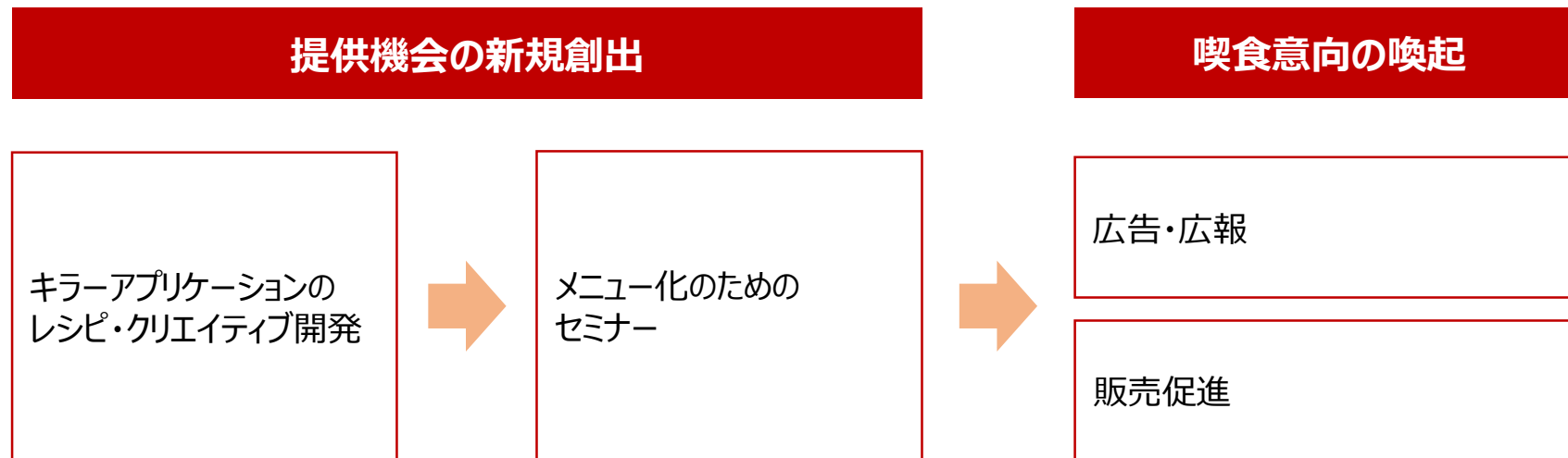
出所：農林水産省, 2021年7月『米をめぐる状況について』

【中食・外食での選択の方法】



取り組み方針

日本産コメを使った料理について、外食店を中心に提供機会を新規に創出し、また、香港消費者の喫食意向を喚起することで、消費を増加させます



ターゲット

香港の15-59歳の消費者のうち、チェーンオペレーションの外出・小売業で普段寿司・刺身を食べるような普段から魚介類に親しみがある約370万人を対象とします

$$\begin{array}{l} \boxed{\begin{array}{c} 460万人 \\ \text{(香港の15-59歳人口)} \end{array}} \times \boxed{\begin{array}{c} 93\% \\ \text{(寿司を全くべない} \\ \text{割合7\%を除く)} \end{array}} \times \boxed{\begin{array}{c} 87\% \\ \text{(普段、外出の寿司チェーン店} \\ \text{を利用する割合)} \end{array}} = 370万人 \end{array}$$

出所： JFOODO 秋季キャンペーン効果測定n=1,450 (2019年10月実施)
香港での消費者定量調査 n=500 (2018年8月実施)
香港統計局

施策の方向性

- キラーアプリケーションのレシピ・クリエイティブ開発

日本産コメの特長を活かしたキラーアプリケーションのレシピ及びクリエイティブを開発します

【キラーアプリケーション】

ライスバーガー



ブリの炊き込みご飯



ホタテのバター醤油ご飯



宇和島鯛めし



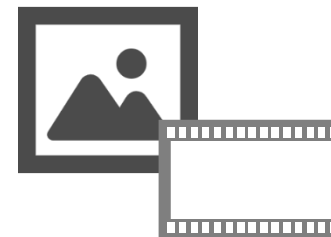
※キラーアプリケーションとは、日本産コメの特徴が活かされ、消費者の関心を喚起する象徴的なレシピを指す（例：タピオカ×ミルクティ）。

画像：photoAC Commercial use allowed

【レシピとクリエイティブ】



香港に拠点を置くシェフによる
レシピの開発



メインビジュアル・動画の開発

施策の方向性

- メニュー化のためのセミナー

香港に拠点を構えるシェフを講師に、基礎的な日本産コメの取扱いをはじめ上記キラーアプリケーションの活用方法まで紹介することで、キラーアプリケーションのメニュー化を促します



施策の方向性

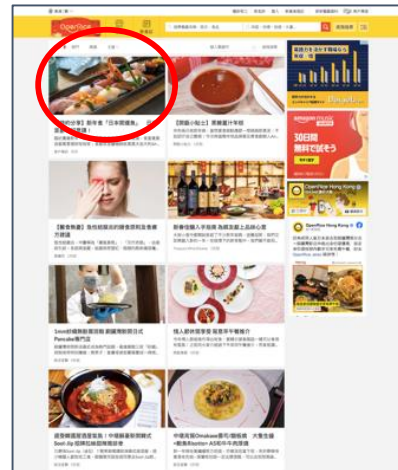
- 広告・広報

香港で進行中の水産物プロモーションと連動させたいうえで、広告・広報を複数回行うことで、キラーアプリケーションについて消費者の認知・喫食意向を高めます

【日本産コメプロモーションの広告・広報】



Like Japan (@likejpn)
<https://www.facebook.com/likejpn/posts/3119959728113914>



<https://s.openrice.com/Qrbc0EHe000>
 掲載日：2021/2/9



【水産物（ホタテ、ブリ、タイ）プロモーションの広告】



8月末から2月末まで、動画を中心にデジタル広告（Google, YouTube, Facebook）を配信予定。



※画像：2020年度香港における水産物プロモーションのPR施策

施策の方向性

- 販売促進

消費者にキラーアプリケーションの注文を促す店頭用POPツールを制作し、キラーアプリケーションを導入いただいた店舗に無償で提供します

【店頭用ツールの例】



ポスター



ミニフラッグ



ステッカー



テーブルテント

※画像は、2020年度香港における水産物プロモーションで制作した店頭用POPツール

スケジュール

2021年秋以降に、各施策を実施します

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
キラアプリケーションの レシピ・クリエイティブ開発	→					
メニュー化のための セミナー			→			
広告・広報				→		
販売促進				→		

※スケジュールは変更が生じる可能性があります

JFOODOプロモーション参加登録のメリット


JFOODOのプロモーションに参加することで、自社の販売促進の商談に活用でき、販売促進を同期化することで売上を大きく増幅することができます

- JFOODOのプロモーション施策の詳細情報を事前に得ることができ、自社の商談（輸出されている製品の新規取扱いや販売促進）に活用いただけます。
- 自社あるいは取引先店舗の販売促進活動をJFOODOのプロモーションと同期化することで、売上げを大きく増幅することができます。
- JFOODOが制作する店頭用ツールを自社の取引先店舗で使用することができます。

参加方法

JFOODOホームページ上のお申し込みフォームにご記載の上、お申し込みください

▼お申し込みフォームはこちらから▼

<https://www.jetro.go.jp/jfoodo/project/kome.html>

※参加いただきました事業者様には、アンケートを実施させていただきます。

プロモーションの継続や改善に必要な情報ですので、必ずご回答いただきますようお願い申し上げます。

■日本産水産物プロモーションに関する問い合わせ先■

日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）

海外プロモーション事業課（JFB@jetro.go.jp）

担当：津村、渡邊

住所：〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル

TEL:03-3582-8345

